

交付運用報告書

損保ジャパン外国債券ファンド（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間（2016年7月16日～2017年7月18日）

第12期（決算日 2017年7月18日）

受益者のみなさまへ

第12期末（2017年7月18日）	
基準価額	12,663円
純資産総額	377百万円
騰落率※	3.9%
期中分配金合計	0円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「損保ジャパン外国債券ファンド（為替ヘッジなし）」は、このたび第12期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を除く世界各国の公社債を実質的な主要投資対象とし、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る投資成果を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。

運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧方法>

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

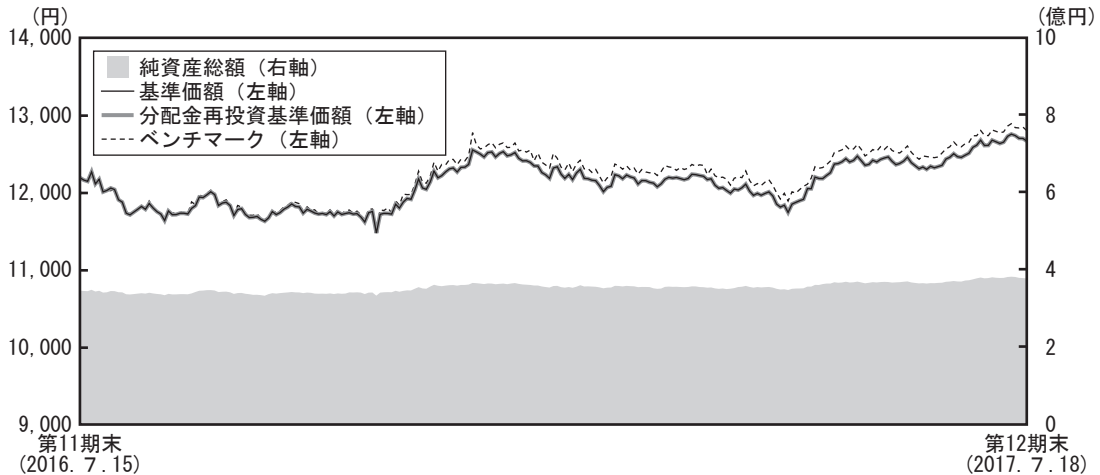
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■ 基準価額の推移



第12期首：12,191円

第12期末：12,663円（期中分配金合計0円）

騰落率：3.9%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額およびベンチマーク（シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース））の推移は、2016年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

（損保ジャパン外国債券ファンド（為替ヘッジなし））

円安ドル高を主因にマザーファンドの基準価額が上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

（損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド）

期中の騰落率は+4.9%となりました。

債券利回りが上昇（価格は下落）したことから債券要因はマイナスとなりましたが、円安ドル高による為替要因のプラスが大きかったことから、基準価額は上昇しました。

■ 1万口当たりの費用明細

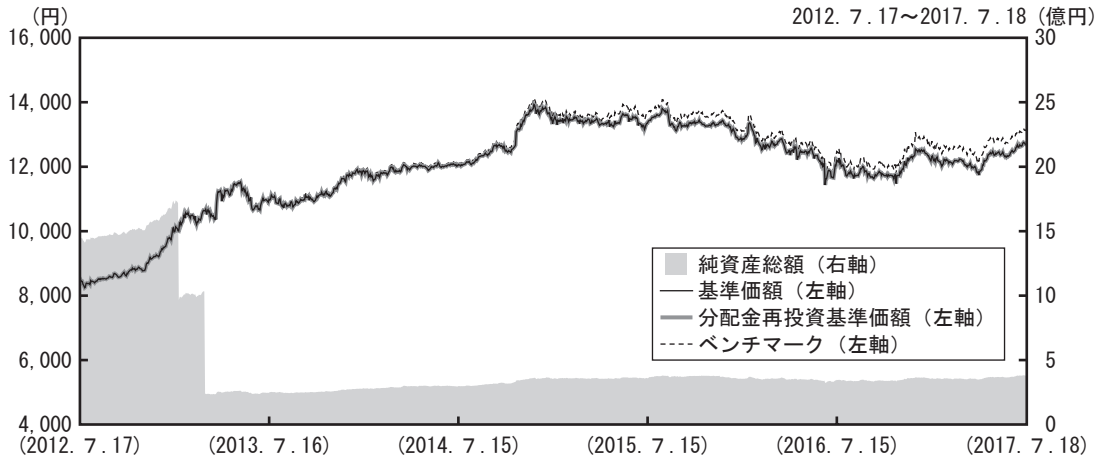
項目	第12期		項目の概要
	(2016年7月16日～2017年7月18日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	118円	0.977%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,112円です。
（投信会社）	（ 46）	（0.380）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 66）	（0.543）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 7）	（0.054）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.036	(b) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（ 4）	（0.031）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（0.004）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.001）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	123	1.014	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額およびベンチマーク（シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース））の推移は、2012年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2012年7月17日 決算日	2013年7月16日 決算日	2014年7月15日 決算日	2015年7月15日 決算日	2016年7月15日 決算日	2017年7月18日 決算日
基準価額	(円)	8,444	10,990	12,065	13,351	12,191	12,663
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	30.2	9.8	10.7	△ 8.7	3.9
ベンチマーク騰落率	(%)	—	30.7	10.0	12.3	△ 8.5	5.0
純資産総額	(百万円)	1,445	247	298	358	346	377

ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

■投資環境

○米国債券市場

当期の米国10年債利回りは、上昇（価格は下落）しました。

期初に1.5%台であった米国10年債利回りは、10月までは緩やかな上昇傾向で推移しました。その後、11月の米大統領選でトランプ氏が勝利し、景気拡大期待や物価上昇観測が高まると、12月には2.6%近傍まで大幅に上昇しました。しかし、その後は、トランプ政権の先行き不透明感や期待インフレ率の低下などが、利回りの上昇を抑え、期末には2.2%台となりました。

○欧州債券市場

当期のドイツ10年債利回りは、上昇（価格は下落）しました。

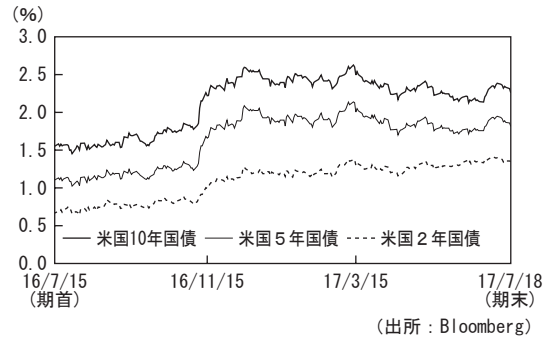
期初に0%近傍であったドイツ10年債利回りは、11月の米大統領選でのトランプ氏当選による米国債券利回りの大幅上昇を受けて、12月には0.4%近傍まで上昇しました。その後は、方向感に欠ける動きが続きましたが、6月下旬にECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が金融緩和縮小に前向きな発言を行ったことを受けて、利回りは上昇し、期末には0.5%台となりました。

○為替相場

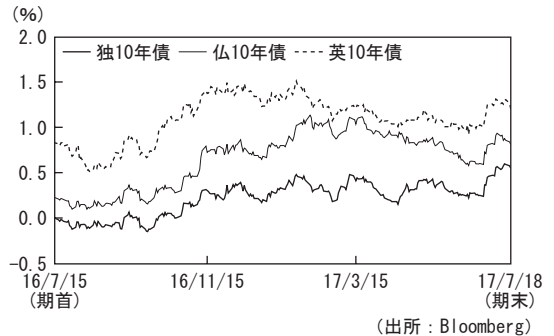
当期の米ドル円相場は、円安ドル高となりました。

期初に106円近傍であったドル円相場は、米国金利が低位で推移する中、10月までは円高傾向となりました。その後は、11月に米大統領選でトランプ氏が勝利し、米国金利が上昇したことを受けて、12月には118円台まで円安ドル高が進みました。しかし、その後は、トランプ政権の先行き不透明感や地政学リスクへの警戒感などから、円安は一服し、期末には112円近傍となりました。

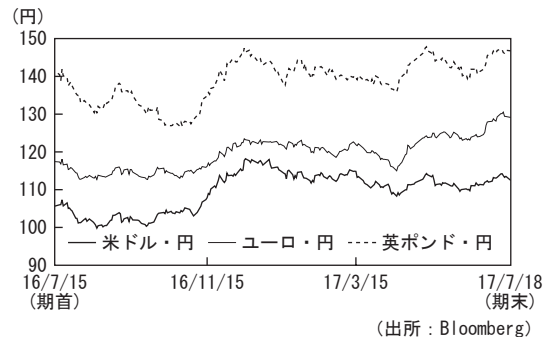
米国国債利回りの推移



欧州各国利回りの推移



為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドの運用については、損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

（損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド）

期を通して債券の組入比率は概ね高位に維持しました。

・国別配分

メキシコペソをドルに対してオーバーウェイトする戦略を期初から1月まで継続しました。

ユーロをドルに対してオーバーウェイトする戦略を4月に構築し、期末まで継続しました。

ユーロ圏内の国別配分は、相対的な割安度に応じて、各国のウェイトを変更しました。

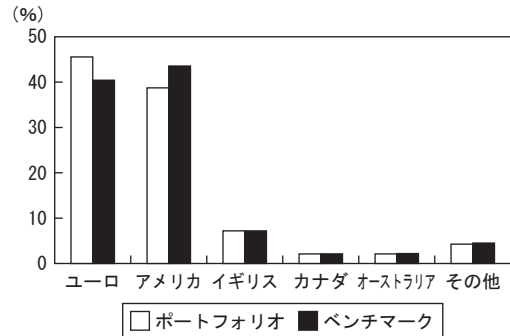
・デュレーション・残存期間構成戦略

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて機動的にポジションを変更しました。

残存期間構成戦略は、米国において、11月に中期をオーバーウェイトし、短期と超長期をアンダーウェイトしました。

なお、為替ヘッジは行っておりません。

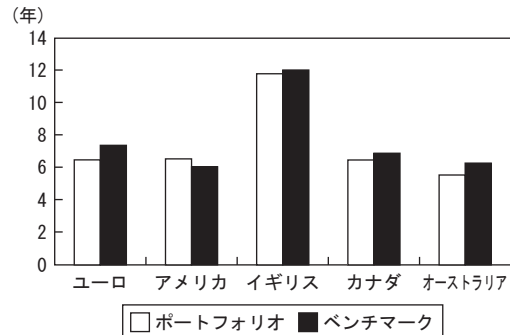
国別配分比率



(注1) ポートフォリオは、マザーファンドにおいてキャッシュポジション等を考慮しない国別配分比率です。

(注2) ポートフォリオは当期末時点、ベンチマークは2017年6月末時点の数値を使用しております。

市場別デュレーション



(注) ポートフォリオは当期末時点、ベンチマークは2017年6月末時点の数値を使用しております。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

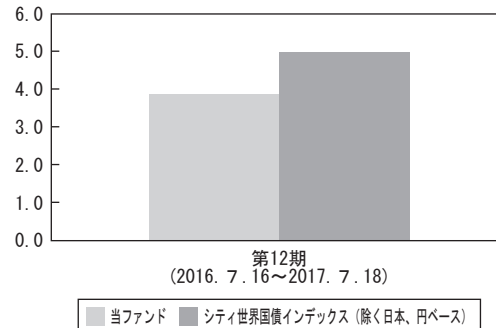
当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース、信託報酬控除後）は、ベンチマーク（シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース））の騰落率（+5.0%）を1.1%下回りました。当ファンドは期を通じて「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」を高位に組み入れていましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異の要因分析についてご説明いたします。

<損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドとベンチマークとの差異>

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース））の騰落率（+5.0%）とほぼ同水準でした。

ユーロをドルに対してオーバーウェイトする戦略はプラスとなりましたが、メキシコペソをドルに対してオーバーウェイトする戦略や米国の残存期間構成戦略等がマイナスとなったため、ベンチマークとほぼ同水準となりました。

(%) 基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、当期は分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本部分と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第12期
	2016年7月16日～2017年7月18日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,338

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

（損保ジャパン外国債券ファンド（為替ヘッジなし））

今後の運用におきましても、マザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、信託財産の着実な成長を目指します。

（損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド）

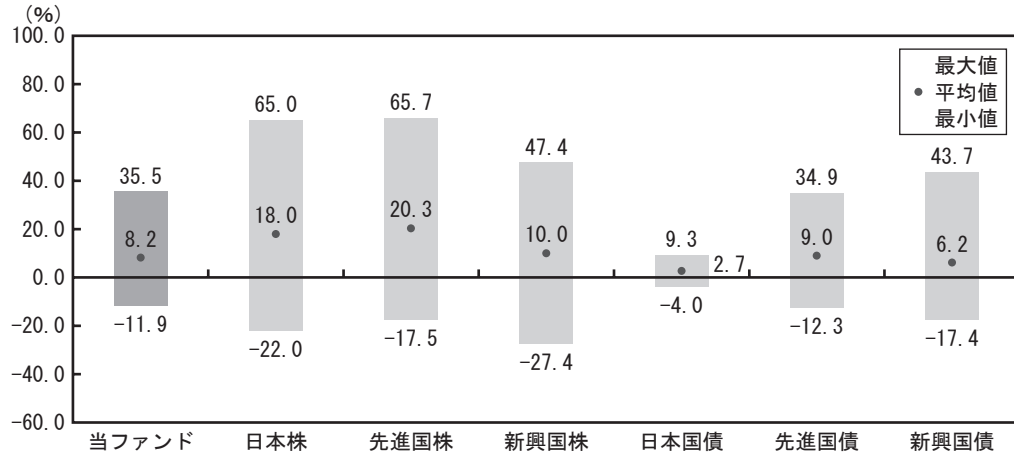
国別配分戦略は、ユーロドルを中心に相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。ユーロ圏内の国別配分戦略は、相対的な割安度に応じて、各国のウェイト変更を検討します。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	損保ジャパン外国債券 ファンド(為替ヘッジなし)	「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザー ファンド」 受益証券
	損保ジャパン外国債券 (為替ヘッジなし)マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債
運用方法	<p>①日本を除く先進各国の政府、政府機関等の発行する外国債券を中心に分散投資を行い、国内債より相対的に高いインカムの確保をはかるとともに金利低下や格付上昇に伴うキャピタルゲインの獲得を狙います。運用にあたっては、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）を中長期的に上回る投資成果を目指します。</p> <p>②投資対象国は、原則としてA格相当以上の長期債格付が付与された国とし、シティ世界国債インデックス採用国を中心とします。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



期間：2012年7月～2017年6月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
 ※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

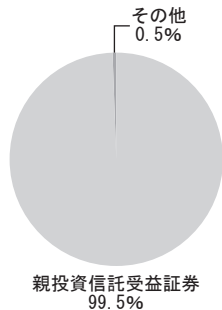
※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

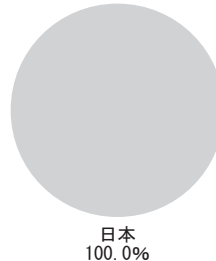
	第12期末
	2017年7月18日
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	99.5%

（注）比率は第12期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

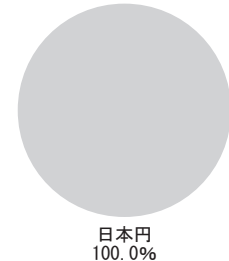
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第12期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	第12期末
	2017年7月18日
純資産総額	377,722,234円
受益権総口数	298,277,474口
1万口当たり基準価額	12,663円

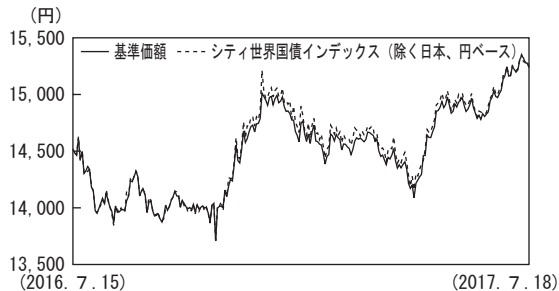
※当期中における追加設定元本額は52,813,255円、同解約元本額は38,492,783円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド>

○基準価額の推移



・ベンチマーク（シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース））の推移は、2016年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

○1万口当たりの費用明細

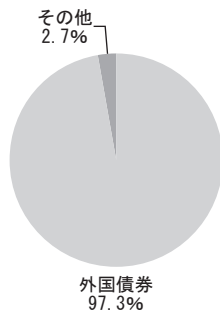
（2016年7月16日～2017年7月18日）

項目	
その他費用 （保管費用） （その他）	5円 (5) (0)
合計	5

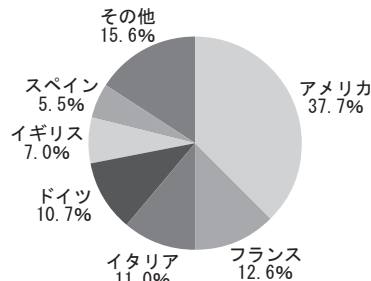
○組入上位10銘柄

	銘柄名	債券種類	通貨	償還日	比率
1	US TREASURY N/B 1.875% 2022/02/28	国債証券	アメリカ・ドル	2022/2/28	8.1%
2	US TREASURY N/B 1.25% 2019/03/31	国債証券	アメリカ・ドル	2019/3/31	8.0%
3	US TREASURY N/B 2.125% 2024/02/29	国債証券	アメリカ・ドル	2024/2/29	7.3%
4	FRANCE O. A. T. 0.0% 2022/05/25	国債証券	ユーロ	2022/5/25	4.1%
5	BUNDESSCHATZANW 0% 2019/03/15	国債証券	ユーロ	2019/3/15	3.8%
6	FRANCE O. A. T. 0% 2019/02/25	国債証券	ユーロ	2019/2/25	3.6%
7	US TREASURY N/B 1.25% 2018/12/31	国債証券	アメリカ・ドル	2018/12/31	3.5%
8	US TREASURY N/B 2.875% 2046/11/15	国債証券	アメリカ・ドル	2046/11/15	2.7%
9	DEUTSCHLAND REP 0.5% 2025/02/15	国債証券	ユーロ	2025/2/15	2.7%
10	BTIPS 0.7% 2020/05/01	国債証券	ユーロ	2020/5/1	2.5%
組入銘柄数			125銘柄		

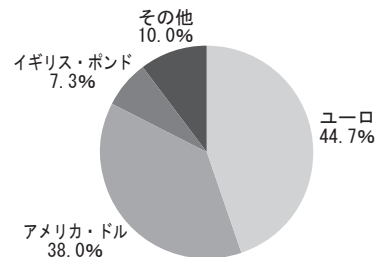
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

（注3）組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2017年7月18日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

（注4）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■指数に関して

○当ファンドのベンチマークである「シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）」について

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan GBI-EM グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント